

平成27年度第3回大分県青少年健全育成審議会の結果(概要)

1 開催日時

平成27年11月16日(月) 10時 ~ 11時50分

2 開催場所

大分県庁舎本館2階 正庁ホール

3 出席者委員

松田順子委員(会長)、岡田正彦委員(副会長)、森崎澄江委員、橋本きくえ委員、堤洋子委員、後藤敦子委員、小野貴美子委員、宮脇和仁委員、疋田啓二委員、渡辺美和子委員、佐野真紀子委員、首藤優作委員、渡辺律子委員、向井真知子委員、吉野光政委員、上野貴士委員、佐々木稔委員 (以上 17名)

4 欠席者委員

安達笑子委員、二階堂衛司委員、長野幸子委員 (以上 3名)

5 傍聴人

なし

6 関係機関出席者(大分県対策本部関係)

生活環境部 酒井宏生活環境部理事兼審議監、
徳野満私学振興・青少年課長
教育庁生徒指導推進室
江藤義室長、石川景子主幹
教育庁社会教育課
曾根崎靖課長、齋藤貴雅主任社会教育主事
警察本部 柳原ユリ生活安全部少年課課長補佐 (以上 7名)

7 事務局出席者

生活環境部私学振興・青少年課
久々宮明美参事、生田大輔主幹、矢野修主幹、
馬場尚登主幹 (以上 4名)

8 出席者の報告

出席委員は17名であり、青少年の健全な育成に関する条例施行規則第14条第2項に定める定足数(委員20名の過半数の出席)を満たした。

9 報告事項

(1)大分県の取組について(概要説明)

- ・平成27年度大分県青少年健全育成大会(11月18日予定)
- ・平成27年度「大人が変われば子どもも変わる」県内一斉行動(11月20日予定)
- ・平成27年度少年の主張大分県大会実施結果(8月7日開催)
- ・平成27年度「家庭の日ふれあい川柳」実施結果

10 審議事項

議題 「大分県青少年健全育成基本計画の策定について」

【主な意見】

(1) 計画の総合目標について

- ①案 「豊かな心をもち よりよく行きようとする青少年の育成
～ 育つ 育てる 育ちあう おおいたの青少年 ～ 」
- ②案 「豊かな心をもち よりよく行きようとする青少年の育成」
～自ら育つ子ども・若者を地域が支える社会を目指して～」
- ③案 「育つ育てる育ちあう おおいたの青少年
～子ども・若者に寄り添ってよりよく行きようとする社会を目指して～」

- ・①案は、親の教育・責任がみえるし、「おおいた」の文言が入っているので良い。
- ・①案は、青少年の自立したイメージがわかるので良い。
- ・子どもは地域で育つので、「地域」の文言が入っている②案が良い。
- ・①案のサブテーマは双方向の育成を表しており、②案「地域」で育てる重要性を表している。①案の中に、「地域」を加えては如何か。
- ・②案に子ども、若者、地域が入っているのが良い。サブテーマは簡単な方が良い。
- ・②案の「自ら育つ」の文言が良い。システムティックな仕組みが表現できている。
- ・システムを考えると②案だが、誰を対象とするかによって、①案と②案では異なる。
- ・③案の「豊かな心・・・」が単刀直入で良い。一番胸に刺さる。
- ・基本的には県の計画なので、県が行政としてどう取り組むかが見えるのが良い。
- ・「育つ 育てる 育ちあう おおいたの青少年2015」ではどうか。

(2) 計画素案等について

- ・青少年の体験活動はお客様体験型が多いが、受け身ではなく、主体として参加することが大事なので、その旨の記述を追加してほしい。
- ・「家庭に期待すること」「青少年に期待すること」「地域に期待すること」と、突然見出しが出てくるので、導入文を追加すると分かり易い。表記は体言止め表記が相応しいと思う。
- ・親の責務の自覚として、「お年寄りをいたわることを教えよう」と記述しているが、いたわるだけでなく、敬うことを教えることも必要なので追加してほしい。
- ・子どもへのしつけについて、「14歳以下の子どもは親の責任」である旨を記述してほしい。
- ・幼児教育では、幼児期に身につけさせたい5つの領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)がある。「健康」について記述がないので、「健康な心と体の育成」を追加してほしい。
- ・青少年の健全育成・自己形成支援「4 学力・体力の向上」(2)多様な教育の推進で、「小中学校が年に1度は体験活動を・・・」と記述しているが、体験活動の回数をもっと増やしてもらいたい。「年に1度」の記述を削除する方がよいと思う。
- ・地域で育てる取組は部分的に行われているが、今後、広げていくことが重要。優れた取組事例を情報発信して共有したら、積極的に踏み出す契機にもなる。各々のつながり・関係がわかるような協育ネットワークづくりのしくみを描いてほしい。
- ・「地域」というと聞こえは良いが、当事者感が薄れてわからなくなる。各地域に青年団をつくらうというような目標を立ててはどうか。
- ・自殺予防教育について記載してほしい。文部科学省は自殺予防教育の導入を打ち出している。子どもが自殺しないように、一人で悩まないように家族や先生や友人に相談するという教育を授業の中で行ってほしい。